

しんりんかんぱつ 森林間伐

かつどう とくちょう <活動の特長>

- ・ 森はそのままにしておくと太陽の光が入らず木が育ちにくくなります。そこで、間伐を行い、森を元気にします。森林間伐体験では、なぜ、間伐を行うのかを考え、実際に間伐を体験することにより、環境にはたらきかけることができます。また、他の環境問題を考えるきっかけにもなります。

れい <めあての例>

- ・ 自然
「間伐体験を通して、
間伐の大切さについて考えよう」



<大まかな活動の流れ>

①めあて・作業手順・注意事項を 確認をしよう

みんなで森を元気にするために間伐しよう！



②間伐をしよう



なかなか力がいるけど、みんなで協力してがんばろう！



③枝払いをし、玉切りをしよう

※「玉切り」とは、長さに切ること。
※玉切りした木で、コースターを作ることできます。



運びやすくするために、枝を切ったり、木をちょうどよい長さに切ったりするんだね。

④玉切りした木を担ぎ出し、トラックに載せよう



この木は、まき割りをして、野外炊事に使えるんだね。



⑤グループミーティングを行おう



木を切るのは大変だけど、森に光が入ったのを見た時は、気持ちよかったです！



⑥まとめ・振り返りをしよう

実際に間伐体験を行って、間伐の大切さが分かりました。

次へのステップ

森を守る取り組みについて詳しく調べてみよう！

<メモ>

- ・やませみから間伐地までは、徒歩で約15分かかります。
- ・年間5校程度、「神奈川トラストみどり財団」の補助を受け、森林間伐体験を実施しています。また、間伐体験を行う前に、事前授業も実施しています。
- ・森林間伐に適した時期は10月～3月です。
- ・危険を伴う作業なので、10人に1人の割合で指導者がつきます。